

人権学習 シリーズ 63

【感謝の気持ちを伝えよう社会】

岩美町人権標語応募作品です。

ありがとう 感謝の気持ち 伝えよう
(岩美北小学校 6年)

伝えよう 身近な人への 感謝の気持ち
(岩美中学校 3年)

各地区では、毎年、敬老会行事が行われることと思います。私の地区でも去る4月29日(昭和の日)に開催されました。

当日、私は集落選出の準備係として、公民館の長机を体育館に運んで並べたり、参加者の弁当や欠席者へ

の配り物の数を確認したりしました。他の集落の人と協力しながら、楽しく準備しました。

敬老会が終わり、近所の会員さんたちとすれ違ったとき、「いい世話をして貰った。ごくろうさん。」「楽しかったで」と声をかけていただきました。この言葉を聞いたとき、たいした仕事はしていないのにつつ、とても嬉しかったです。と同時に、この先輩たちも、かつて敬老会の準備係を勤めてきた経験があるから、こんな温かい声かけができるのかなと思いました。

物事によく気が付き、そして相手に自分の気持ちや感謝の気持ちを気さくに伝える。私もこんな先輩を目指していきたいと思います。

感謝の気持ちを相手に伝えることは、人と人との関わりの中で、とても大切なことだと思います。この標語の意味するところを忘れないように、日々その実践を心掛けたいと思います。

(人権教育推進員)

第30回岩美町人権講演会を開催します

期日：7月5日(日)

時間：午前10時30分～午後0時10分

場所：岩美町中央公民館

演題：『笑って元気』 講師：矢野大和氏

問い合わせ先 教育委員会 ☎73-1302

講師紹介

大分県佐伯市 矢野大和事務所代表

1956年 大分県に生まれる。

大分県宇目町の「観光大使」という地方公務員としては全国でも珍しい職務を与えられ、ふるさと宇目町をPRすべく全国各地を東奔西走し、市町村合併後も佐伯市観光大使として活動を続ける。平成19年市役所退職後も「笑って元気な口演」は月間40会場を超える。

まちの企業さん

(有)クラフト館 岩井窯

「物は人!」「物を売るのではなく、人を買ってもらふこと」

今回は、宇治の窯元「(有)クラフト館 岩井窯」を紹介します。代表者は高校時代に来日したバーナード・リーチに東京で逢い陶芸を志します。そして、高校卒業後に島根県の出西窯へ弟子入りし4年間の修行を積み1971年に22歳で現在地に独立し初窯を出します。

以来、「鳥取発 - 全国区」との思いから自分の信念を曲げることなく仕事を貫き、10年後には県内外の百貨店等で個展を開催する様になり、知名度を上げて来られました。

1990年に台風災害(土石流)に遭い窯場の再建に苦労されるが、何とか立て直し1998年に法人化し現在に至ります。



焼き物は、作って売るだけでなく、「癒し」を与えることを理念とされ、県内外より多くの愛好家を集い地域の活性化に努めている企業です。

焼く物は、作って売るだけでなく、「癒し」を与えることを理念とされ、県内外より多くの愛好家を集い地域の活性化に努めている企業です。



会社概要

会社名	(有)クラフト館 岩井窯
代表者	山本 教行
所在地	岩美町宇治134-1(☎・FAX)73-0339
事業内容	陶芸製造販売



社長の一言

日本の食文化の変化は、世界が自由経済になり、食品の流通もより安く、自由になったことも要因の一つではあるが、幼少期の味覚の潜在的記憶にも原因があるように思えてなりません。私はここ数年来、作品展などで作品を買っていただいた方のお子さんやお孫さんに名前入りのご飯茶碗を作りプレゼントしています。一人でも多く、一回でも多くご飯を食べてもらいたいとの願いからです。

今後も、ご飯茶碗を通して多くの人々にお米の良さを知っていただき、日本の食文化継承に貢献できればと思っています。